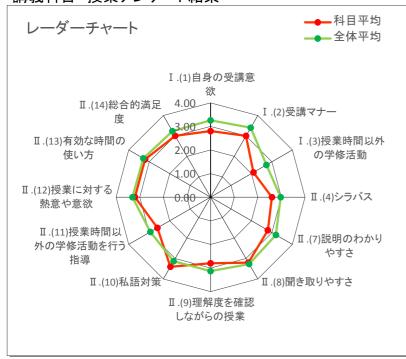
講義科目 授業アンケート結果

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート



	設問No.	科目平均	全体平均
受自	I .(1)	2.80	3.26
講身	I .(2)	3.00	3.40
勢の	I .(3)	2.10	2.73
	Ⅱ .(4)	2.60	2.97
	Ⅱ .(5)	/	\setminus
講	II .(6)		\setminus
義	Ⅱ.(7)	2.80	3.20
内容・方法	(8). Ⅱ	3.20	3.27
	(e). II	2.80	3.13
	Ⅱ.(10)	3.40	3.13
/4	Ⅱ.(11)	2.60	2.94
	Ⅱ.(12)	3.20	3.31
	Ⅱ.(13)	3.20	3.29
満足度	Ⅱ.(14)	3.00	3.23

	授業年度	2014年度 前期
l	時間割番号	34401
1	科 目 名	基礎数学Ⅱ
	教 員 名	

①授業計画の達成度について

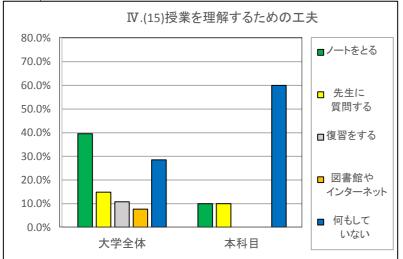
基礎数学 II は、数学検定5級から3級レベルであるが、基礎数学 I に比べると、一気に内容の範囲が増え、レベルが上がる。受講生にとっては、予定の範囲すべてを理解するには半期15回では時間が不足気味であった。授業に対する動機づけとして、つぎの3点の目的を伝えながら授業をした。①授業は就職試験等で出題される数学の対策につながり、専門分野で扱われる数学の理解につながる。②数学的思考の面白さを発見・再確認する。③単位の取得を目指す。(期末試験を60点以上取得)授業は、受講生の理解状況も確認しながら進める必要もあり、シラバスの全範囲は取り組めなかった。③の目的のため、最後に近い回では、難度の高いところ(3級数理編)の完遂は断念し、それまでの反復トレーニングをした。

②授業の進め方について

基本的には、テキストを使用してはじめから順番に授業をした。実施方法としては、問題を指定して黒板に解答を書かせたり、質問をしてその場で答えさせたり、模擬問題等プリントを用意して取り組ませたりした。受講生も概ね授業に真面目に参加していたと考える。

※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2, (あまりそう思わない)、1(そう思わない)

⟨※	複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に 質問する	復習をする	図書館や インターネット	何もして いない
IV .(15)	授業を理解するための工夫	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	60.0%



		本科日平均	王体平均	
	自身の 受講姿勢	2.63	3.13	
	I .(1)~(3)			
	講義内容・ 方法 Ⅱ.(4)~ (13)	2.98	3.15	
	総合的 満足度 Ⅲ.(14)	3.00	3.23	

太利日亚松 合体亚松

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について 昨年度も同じ授業をしていて、今回も同じように力を入れて授業は したつもりだったが、今回は全体的に数字が低くなっている印象 だった。

授業の目標は受講生の数学力の向上にあるので、単位の取得ができる実力が身に付いたら講義担当としてはうれしいのだが、今回の授業で単位が取得できた受講生は、手応えから想像していたよりも少ない結果となった。できるだけ理解状況を見ながら授業を進めてきたつもりだったが、さらに注意深く受講生の状況を把握し、理解を助ける手立てが必要であると考えた。次年度担当する場合はそのための新たな工夫も試みたい。